

第 2 次県立病院経営中期計画の取組状況等について

1 取組状況

がんセンター中央病院

○ がんに対する高度で専門的な医療の提供

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
新外来患者数	5,548 人	5,619 人	5,907 人	95.1%
新入院患者数	9,475 人	9,367 人	9,820 人	95.4%
1日当たり外来患者数	614.9 人	634.2 人	635.0 人	99.9%
病床利用率	82.0%	79.3%	88.0%	90.1%
手術件数	2,750 件	2,840 件	3,020 件	94.0%
外来化学療法件数	21,011 件	22,152 件	24,000 件	92.3%

- ・がん診療の中核拠点病院として、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供しており、新外来患者数、1日当たり外来患者数はともに増加し、手術件数も増加している。
- ・新入院患者は、やや減少しており、平均在院日数も短縮していることから、病床利用率は低下している。
- ・昨年 7 月には、増加する外来化学療法に対応するため、国内最大規模となる外来化学療法センターを新たに設け、より快適な環境で安全にかつ迅速に実施できるようにした。実施件数は順調に増加しており、患者の待ち時間も短縮している。

○ 臨床研究・治験の推進

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
治験契約件数	162 件	167 件	187 件	89.3%
臨床研究件数	109 件	137 件	155 件	88.4%

- ・がんの新薬を用いた安全で有効な治療薬を開発するため、積極的に臨床研究・治験を実施しているが、専門職の配置を始めとした実施体制に不足があるため、件数は伸び悩んでいる。

○ 患者の立場に立ったがん医療の提供、患者サービスの向上

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
緩和ケアチームへの新規依頼件数	635 件	440 件	700 件	62.9%
認定看護師数	33 人	37 人	41 人	90.2%
薬剤師による服薬指導件数	5,574 件	7,699 件	8,800 件	87.5%
院外処方箋の発行枚数	39,278 枚	43,095 枚	39,400 枚	109.4%

- ・医療の質を高め、安全で効果的な薬物療法を提供するため、服薬指導に積極的に取り組むこととしており、件数は増加している。
- ・患者の就労に関する悩みに対応するため、昨年 10 月から月 2 回、社会保険労務士による相談を実施している。

がんセンター研究所

○ がんに対する独創的な研究活動と最先端医療の開発

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
学術会議報告・発表件数	235 件	195 件	220 件	88.6%
1研究員当たり研究論文数	3.1 件	2.3 件	3.1 件	74.2%
中央病院との連携研究件数	35 件	36 件	36 件	100.0%
外部との共同研究件数	111 件	108 件	115 件	93.9%
若手がん研究者の受入数	38 人	40 人	40 人	100.0%
学位獲得件数	12 件	4 件	12 件	33.3%

- ・がん克服を目指した独創的な研究を推進し、その研究成果を学術会議や国際学術雑誌等で発表するとともに、中央病院と一体となって新しい医療技術や診断法、治療法など最先端医療の開発に向けてトランスレーショナルリサーチを推進している。

◆ 研究成果の一例（平成 25 年 5 月 28 日記者発表）

がん細胞の分裂には、がん細胞を分裂させる分子だけでなく、がん細胞を成長させる分子も関わっていることを発見した。この研究成果により、より効果的ながんの分子標的薬の併用療法を導き出すとともに、新たな分子標的薬の開発にも繋がることが期待される。

（世界的な学術ジャーナル「ネイチャーコミュニケーションズ」に掲載）

がんセンター愛知病院

○ がんに対する高度・専門医療の提供

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
新外来患者数(結核を除く)	6,769 人	6,631 人	8,420 人	78.8%
新入院患者数	3,865 人	4,060 人	4,441 人	91.4%
がんの新入院患者数	3,411 人	3,617 人	3,987 人	90.7%
病床利用率(結核を除く)	76.8%	74.4%	88.2%	84.4%
手術件数	896 件	947 件	1,027 件	92.2%
がんの手術件数	574 件	625 件	722 件	86.6%

- ・三河地域におけるがんセンターとして、高度で専門的ながん医療の提供に努めており、乳がんや肺がんの手術件数は県下でも有数の実績であり、骨軟部腫瘍の分野では三河地域で唯一の基幹病院である。
- ・地域の医療機関との連携を強化し紹介患者の確保に努めており、新入院患者数、手術件数は増加しているが、新外来患者数は伸び悩んでいる。
- ・岡崎市民病院の救急病床確保を支援する取組など、地域で必要とされる医療に取り組んでいる。
- ・平成26年度からのDPC（診断群分類別包括制度）対象病院への移行に向け、準備を進めている。

○ 緩和ケアの推進

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
新入院患者数(緩和ケア病棟)	285 人	304 人	316 人	96.2%
入院延患者数(緩和ケア病棟)	6,407 人	6,656 人	7,008 人	95.0%
緩和デイケア利用件数	1,228 人	1,369 人	4,400 人	31.1%
緩和ケア訪問診療件数	52 件	47 件	96 件	49.0%

- ・三河地域全域の緩和医療の中心的な役割を果たすため、地域緩和ケアセンター（緩和デイケアセンター）の建設を進めており、平成26年度からの供用開始を予定している。
- ・診療所と連携し、緩和ケア専門の医師や看護師等がチームで患者宅を訪問し、在宅緩和ケアを提供している。

○ 患者の立場に立ったがん医療の提供、患者サービスの向上

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
医療相談件数	23,533 件	31,989 件	29,610 件	108.0%
ボランティア登録者数	118 人	118 人	140 人	84.3%
薬剤師による服薬指導件数	1,751 件	1,728 件	3,557 件	48.6%
院外処方箋の発行枚数	24,757 枚	26,352 枚	26,156 枚	100.7%

- ・相談支援センターにおいて、看護師や医療ソーシャルワーカーががん医療や医療費、在宅でのケア、緩和ケアなどに関し相談に応じており、その件数は増加している。

がんセンター尾張診療所

○ 診療所のあり方の見直し

循環器呼吸器病センター廃止後の施設の一部を利用して、外来化学療法及び乳がんの2次検診を実施する愛知県がんセンターの診療所として平成22年10月1日に設置したが、受診者数は低迷しており、開所以来、年間2億円近くの赤字が続いている。こうした状況に加え、中央病院に新たな外来化学療法センターがオープンしたこともあり、平成26年3月31日をもって廃止することとした。

○ 跡地の利活用

跡地の利活用については、早期に確定できるよう公募手続きなど必要な準備を進めている。

施設名	建物の構造、建設年次	延床面積 建物管理	敷地面積 土地管理
旧循環器呼吸器病センター (尾張診療所)	鉄筋（一部鉄骨鉄筋） コンクリート造、S48～H6 築	25,925 m ² 病院事業庁	66,738 m ² 病院事業庁
旧尾張看護専門学校	鉄筋コンクリート造、 S49～H4 築	4,182 m ² 健康福祉部	5,022 m ² 病院事業庁

城山病院

○ 精神科医療体制の中核病院としての先進的な専門医療の提供

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
新外来患者数	665 人	649 人	850 人	76.4%
病床利用率	66.1%	58.9%	86.0%	68.5%
平均在院日数	146.5 日	135.3 日	110.0 日	81.3%
臨床研修医ローテート研修受入数	27 人	21 人	30 人	70.0%

・県内の精神科医療の先進的かつ中核的医療機関としての役割を果たすため、全面改築を進めている。改築後には、後方支援病床を5床確保するなど、精神科救急医療への対応を強化するとともに、早期の治療が必要な思春期の患者や発達障害のある患者に対し専門病床で対応する。さらには、医療観察法に基づく入院医療にも対応する。

・改築に伴い、一部病棟を閉鎖し、入院患者の退院促進を行っているため、病床利用率は低下している。

○ 患者サービスの向上

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
医療相談件数	8,088 件	4,588 件	6,800 件	67.5%

・改築工事は今年度上期に着手する予定であったが、労務費及び建設資材の急激な高騰により、入札が2度不調となり、今年1月の3度目の入札でようやく業者が決定した。したがって、改築スケジュールは当初よりも1年遅れとなり、全面オープンは平成29年度となる見込である。

あいち小児保健医療総合センター

○ 小児への先進的な専門医療の提供

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
新外来患者数	8,487 人	8,389 人	10,500 人	79.9%
新入院患者数	5,592 人	6,304 人	6,400 人	98.5%
病床利用率	67.1%	67.9%	82.5%	82.3%
手術件数	2,102 件	2,184 件	2,700 件	80.9%

・県内唯一の小児医療の専門病院として、多くの小児科専門医を擁しており、高度で先進的な小児医療を提供している。

・県内全域、県外からも患者は集まってきており、新入院患者数や手術件数は増加している。

・新入院患者数は順調に増加しているが、平均在院日数が短縮しているため、病床利用率の伸びは小さい。

○ 小児救急医療及び新生児医療への対応

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
救急患者数	1,271 人	1,509 人	2,800 人	53.9%
緊急入院患者数	850 人	1,017 人	980 人	103.8%
救命救急センター等からの搬送者数	13 人	12 人	20 人	60.0%

・平成25年度から、土曜日夜間・日曜日・祝日に加え、新たに月曜日も2次救急に対応している。

・さらに、小児3次救急医療及び新生児医療に対応するため、救急棟の整備を進めており、今年1月に入札を実施したが不調に終わった。現在、2回目の入札手続きを進めている。

○ 県の小児保健の中核的支援拠点としての機能充実

	H24 実績	H25 見込 (A)	H28 目標 (B)	達成率 (A/B)
保健相談件数	9,960 件	9,159 件	11,000 件	83.3%
ボランティア登録者数(4/1 現在)	57 人	39 人	70 人	55.7%

・平成25年度から、児童虐待防止医療ネットワークの拠点病院として、配置された児童虐待専門コーディネーターを中心に、児童虐待の発生防止、早期発見、早期対応を推進している。